

2025 年度 土砂災害予測に関する研究集会開催案内

DX・生成 AI 時代に向けた調査・解析技術の現状と課題

趣旨

2015 年に第一回「土砂災害予測に関する研究集会」を開催して以来 10 周年にあたる本年は、第一回のテーマに掲げた“新技術”を再度取り上げて、「DX・生成 AI 時代に向けた調査・解析技術の現状と課題」をテーマとして開催いたします。

この間、様々な分野における技術革新が目覚ましく、DX、生成 AI の急速な発展に加え、衛星データを用いた各種解析や、それを用いた災害発生状況の把握や地形・地質調査への貢献、地すべり危険度評価や土石流シミュレーションによるハード・ソフト対策の充実、リアルタイム危険度評価技術、等々目を見張るものがあります。

今年度の「土砂災害予測に関する研究集会」では、上記テーマに関わる各界の専門家に話題を提供していただき、土砂災害に関わる多くの方々にご議論いただくことを目的といたします。現状における新技術の活用事例や多岐にわたる研究成果を集め、現状と課題、今後の展望について掘り下げて議論いたします。本研究集会が今後の土砂災害予測にとって有益な意見交換の機会になることを期待いたします。

- 主催： 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
- 後援： 日本地すべり学会・砂防学会・日本応用地質学会・斜面防災対策技術協会
(予定)
- 開催日時： 2025 年 12 月 2 日 (火) 10 時 00 分～17 時 30 分
- 開催形態： Zoom 会議によるオンライン方式 (先着 500 名)
- 発表形式： 基調講演・招待発表・総合討論
- 参加申込： <https://wpld2025.raku-con.com/>
- 申込〆切： 2025 年 11 月 25 日 (火) 12:00 もしくは定員に達するまで
- 参加費： 無料
- CPD： 建設コンサルタンツ協会 CPD (6.00 単位)

問合せ先： 研究集会事務局 jisuberi@bosai.go.jp

2025 年度 土砂災害予測に関する研究集会 プログラム

DX・生成 AI 時代に向けた調査・解析技術の現状と課題

12 月 2 日（火）10:00～17:30		
10 : 00～10 : 05	開会挨拶・趣旨説明	防災科学技術研究所
10 : 05～11 : 05	基調講演 デジタルツインと AI が変える土砂災害予測 —地形画像診断と災害エージェントの可能性—	原口 強（東北大学・STORY）
11 : 05～11 : 10	休憩	
11 : 10～11 : 35	地すべり災害対応における BIM/CIM の活用	杉本宏之（土木研究所）
11 : 35～12 : 00	iRIC-Morpho2DH による DX 時代の土石流リスク評価と土石流災害対策	竹林洋史（京都大学防災研究所）
12 : 00～13 : 00	昼休憩	
13 : 00～13 : 25	深層学習による土砂災害の危険度予測手法と解釈のあり方	古木宏和（日本工営）
13 : 25～13 : 50	地震時の斜面崩壊推計における数値地形解析と地形地質ゾーニング	岩橋純子（国土地理院）
13 : 50～14 : 15	様々な解像度の DEM を使用した赤色立体地図による地形表現の検討	千葉達朗（アジア航測）
14 : 15～14 : 40	災害発生直後の状況把握のためのオープンデータ活用と現場連携	鈴木雄介（STORY）
14 : 40～14 : 45	休憩	
14 : 45～15 : 10	高頻度 SAR 観測時代への期待 —干渉 SAR 時系列解析による斜面変動の検出と実用上の課題—	宇佐見星弥（北海道立総合研究機構）
15 : 10～15 : 35	SAR ピクセルオフセット解析による能登半島地震で生じた地表変動の把握	杉本 惇（パスコ）
15 : 35～16 : 00	高解像度 DEM を用いた斜面変動判読技術の現状と将来的な期待・展望	吉田一希（国土地理院）
16 : 00～16 : 25	数値地形画像解析による地表変位計測	向山 栄（国際航業）
16 : 25～16 : 30	休憩	
16 : 30～17 : 20	総合討論	
17 : 20～17 : 30	閉会挨拶	